

お詫びと訂正（正誤表）

2015 年 12 月 18 日現在

Ver.1.1

本書の以下の部分に誤りがありました。ここに訂正するとともに、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

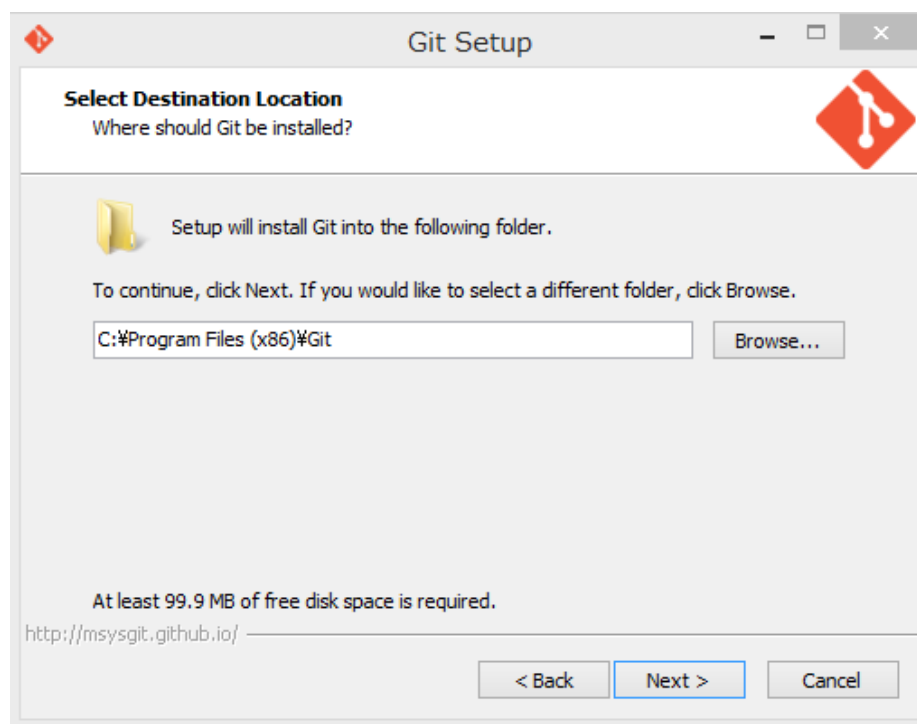
◇本書に関するお問い合わせ

- ご質問送付先の 1 行目
誤：Web ページより
正：【サポートページ】 <http://froide-kk.co.jp/donichi/>
【公式 facebook】 <https://www.facebook.com/donichi.p1.froide/>

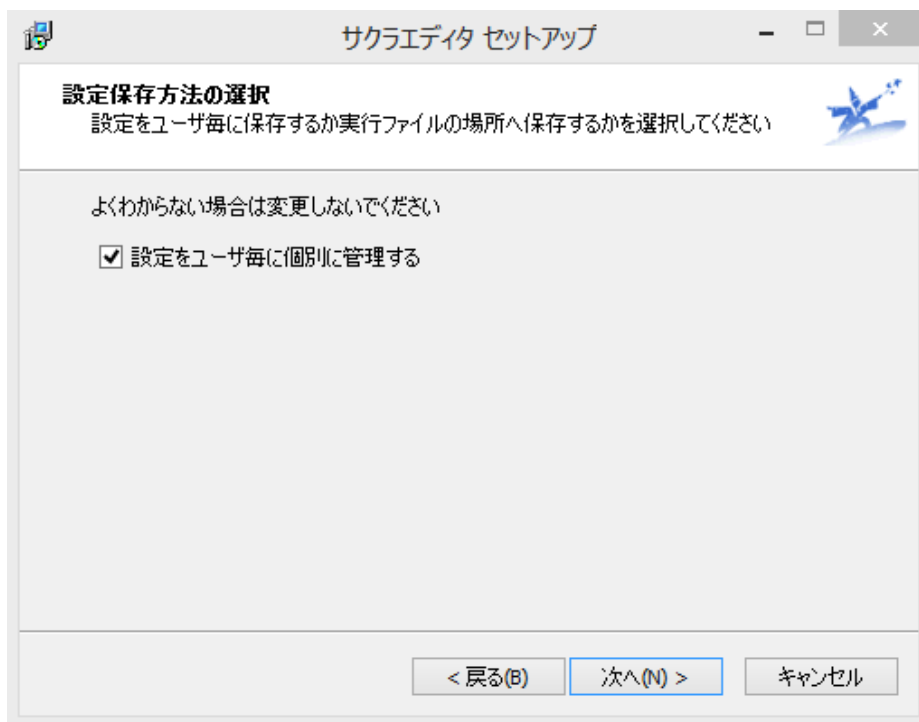
◇金曜日 Friday

第 2 節 ダウンロード&インストール

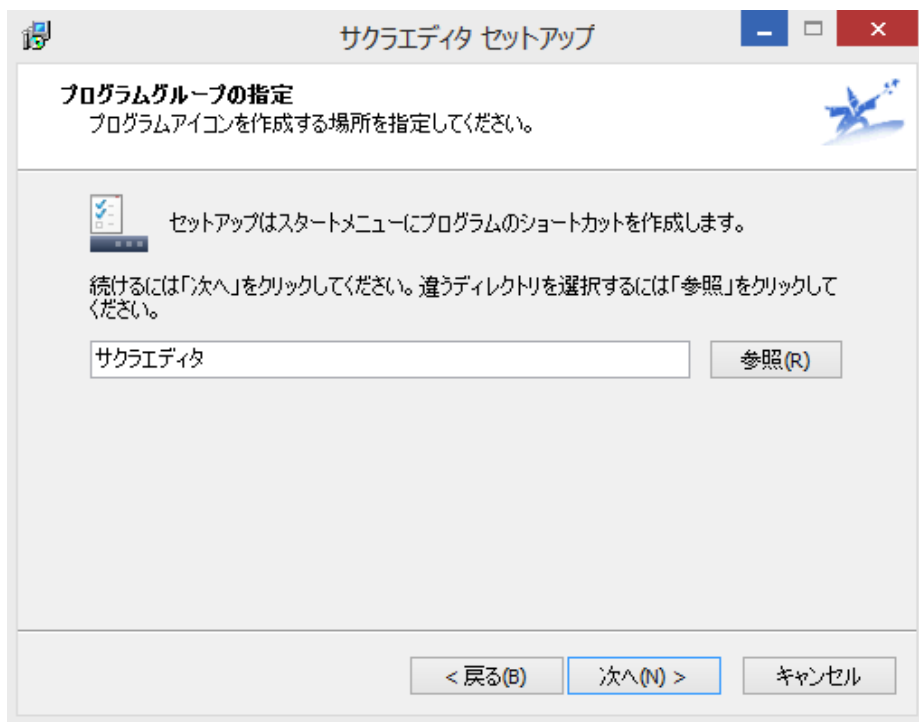
- P.35 手順 5 「インストール先の指定画面」に下記の画面イメージを追加。
5.インストール先を指定する画面が表示されますので、そのまま[次へ(N)>]ボタンをクリックしてください。



- P.41 手順 6 「コンポーネントの選択画面」の次に下記の手順を追加。
 - ・設定保存方法の選択画面が表示されるので、そのまま、[次へ(N)>]ボタンをクリックしてください。



- P.41 手順 7 「プログラムグループの指定画面」に下記の画面イメージを追加。
 - 7.プログラムグループの指定画面が表示されますので、そのまま、[次へ(N)>]ボタンをクリックしてください。



第3節 配列を使ってみる

- P.85 重要! 連想配列についての2行目
誤: 次のP.83
正: P.83

第6節 PHP でカレンダーをつくってみよう

- P.127 ▼C:\fuelphp-1.7.3\public\donichi.php のコードの 31 行目
※本書のコードでは、PHP5 では E_STRICT 警告ですが、PHP7 になると E_DEPRECATED 警告となります。今後の PHP のバージョンアップで動かなくなる可能性がありますので訂正いたします。

```
誤: 30 class Print_Calender{
    31  function space_cell($count){
    32  if ($count!=0){
正: 30 class Print_Calender{
    31  static function space_cell($count){
    32  if ($count!=0){
```

追加します。

- P.130 ▼C:\fuelphp-1.7.3\public\donichi.php のコードの 29 行目
※本書のコードでは、PHP5 では E_STRICT 警告ですが、PHP7 になると E_DEPRECATED 警告となります。今後の PHP のバージョンアップで動かなくなる可能性がありますので訂正いたします。

```
誤: 28 class Print_Calender{
    29  function space_cell($count){
    30  if ($count!=0){
正: 28 class Print_Calender{
    29  static function space_cell($count){
    30  if ($count!=0){
```

追加します。

- P.131 ▼C:\fuelphp-1.7.3\public\donichi.php のコードの 3 行目と 12 行目
※本書のコードでは、PHP5 では E_STRICT 警告ですが、PHP7 になると E_DEPRECATED 警告となります。今後の PHP のバージョンアップで動かなくなる可能性がありますので訂正いたします。

```
誤: 02 class Print_Calendar extends Today_Calendar{
    03  function space_cell($count){
    04  if($count != 0){
        (……省略……)
    11 class Today_Calendar{
    12  function today($day){
    13  if(date("Y/m/d")== date("Y/m/d", mktime(0, 0, 0, date("n"), $day, date("Y")))){
正: 02 class Print_Calendar extends Today_Calendar{
    03  static function space_cell($count){
    04  if($count != 0){
        (……省略……)
    11 class Today_Calendar{
    12  static function today($day){
```

追加します。

13 `if(date("Y/m/d")== date("Y/m/d", mktime(0, 0, 0, date("n"), $day, date("Y")))){`

◇日曜日 Sunday

第2節 作成したプログラムを見てみよう

- P.157 ▼C:\¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥fuel¥app¥views¥tweet¥index.phpのコードの3行目
誤：03
04 <p>Index</p>
正：03
04
05 <p>Index</p>
- P.158 図「oil▼g▼controller」コマンドで生成されたindex.phpページ
誤：Index表示(index.phpの04行目)
正：Index表示(index.phpの05行目)
- P.161 この節で学んだことのtemplate.phpの説明
誤：書かれているファイル：Viewプログラム)
正：書かれているファイル)：Viewプログラム
- P.164 ななこの最初の吹き出しの1行目
誤：tweet/index.php
正：tweet/index

第6節 「おねがい」ページをつくってみよう

- P.189~P.190 ▼C:\¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥fuel¥app¥config¥config.php の行番号
誤：
(……省略……)
259 /* Always Load
*/
260 /*****
*****/
261 // 'always_load' => array(
262
263 /**
264 * These packages are loaded on Fuel's startup.
(……省略……)
273 */
274 // 'packages' => array(
275 // //'orm',
276 //),
277
278 /**
279 * These modules are always loaded on Fuel's startup.
(……省略……)
311 * If you don't want the lang in a group use null as
groupname.

```

312 */
313 // 'language' => array(),
314 // ),
315
316 );

```

正 :

```

(.....省略.....)
257 /* Always Load
*/
258 /*****
*****/
259 // 'always_load' => array(
260
261 /**
262 * These packages are loaded on Fuel's startup.
(.....省略.....)
271 */
272 // 'packages' => array(
273 // //'orm',
274 // ),
275
276 /**
277 * These modules are always loaded on Fuel's startup. ....
(.....省略.....)
307 * If you don't want the lang in a group use null as
groupname.
308 */
309 // 'language' => array(),
310 // ),
311
312 );

```

- P.196 ⑤

誤 : (P.182 「2. ログインと初期設定」 参照)、

正 : (P193③参照) request テーブルに、

- P.201 (オ) ▼クロスサイトリクエストフォージェリ(CSRF)対策のための機能を有効にする。
を追記。

※クロスサイトリクエストフォージェリ(CSRF)について

クロスサイトリクエストフォージェリ(以降、**CSRF**)とは、別のサイトに用意したコンテンツ上の罠のリンクを踏ませること等をきっかけとして、インターネットショッピングの最終決済や退会等 Web アプリケーションの重要な処理を呼び出すようユーザを誘導する攻撃です。

FuelPHP では、こういった攻撃の対策のための機能が搭載されています。

①C:\¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥fuel¥app¥config¥config.php ファイルを開きます。

②以下のグレーの部分のコメントアウトを解除し、CSRF 対策機能を有効にすると簡単に実装することができます。Scaffold で生成されるコードでは実装されないので、手動で実装します。

▼C:\¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥fuel¥app¥views¥request¥_form.php

※行数は FuelPHP のバージョンによって異なります。

(.....省略.....)

```

112 /**
113 * Security settings
114 */
115 'security' => array(

```

```

116 // 'csrf_autoload'    => false,
117 // 'csrf_token_key'   => 'fuel_csrf_token',
118 // 'csrf_expiration' => 0,
119
120 /**
    (……省略……)

```

- P.203 ▼C:¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥fuel¥app¥views¥request¥_form.php のコードの 4 行目
※Scaffold で生成されたコードでは、クロスサイトリクエストフォージェリ(CSRF)対策のため
の機能が含まれていないため、追加します。

```

誤 : 01 <?php echo Form::open(array("class"=>"form-horizontal")); ?>
      02
      03 <fieldset>
      04 <div class="form-group">
      05 <?php echo Form::label('Body', 'body', array('class'=>'controllabel'));?>
正 : 01 <?php echo Form::open(array("class"=>"form-horizontal")); ?>
      02
      03 <fieldset>
      04 <div class="form-group">
      05 <?php echo Form::hidden(Config::get('security.csrf_token_key'),
      Security::fetch_token()); ?>
      06 </div>
      07 <div class="form-group">
      08 <?php echo Form::label('Body', 'body', array('class'=>'controllabel'));?>

```

追加します。

- P.205 ▼C:¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥fuel¥app¥classes¥controller¥request.php の 25 行目と
66 行目
※Scaffold で生成されたコードでは、クロスサイトリクエストフォージェリ(CSRF)対策のため
の機能が含まれていないため、追加します。

```

誤 : 22     'body' => Input::post('body'),
      23     Input::ip()
      24     ));
      25     if ($request and $request->save())
      (……省略……)
正 : 22     'body' => Input::post('body'),
      23     'ip' => Input::ip()
      24     ));
      25     if (Security::check_token() and $request and $request->save())
      (……省略……)
      64     $request->ip = Input::ip();
      65
      66     if (Security::check_token() and $request->save())
      67     {
      68         Session::set_flash('success', 'Updated request #' . $id);

```

追加します。

追加します。

- P.208 ▼C:¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥fuel¥app¥views¥request¥index.php のコードの 26 行目
と 30 行目

※substr 関数では文字列を指定の長さだけ切り詰める関数なので、一部の文字が文字化けする
可能性があり、Str クラスの truncate 関数を使用するように訂正します。

```

誤 : 25     <div class="col-md-4" >
      26     <h3><?php echo substr($item->body,0,36); ?></h3>
      27     <p> 【投稿日時】

```

```

28     <?php echo date("Y-m-d H:i", $item->created_at); ?></p>
29     <p> 【IP】 <?php echo $item->ip; ?></p>
30     <p><?php echo substr($item->body,0,240); ?></p>
31     <?php echo Html::anchor('request/edit/'.$item->id, '<i class="icon-wrench">
正 : 25 <div class="col-md-4" >
26     <h3><?php echo Str::truncate($item->body,12, ", true); ?></h3>
27     <p> 【投稿日時】
28     <?php echo date("Y-m-d H:i", $item->created_at); ?></p>
29     <p> 【IP】 <?php echo $item->ip; ?></p>
30     <p><?php echo Str::truncate($item->body,80, ", true); ?></p>
31     <?php echo Html::anchor('request/edit/'.$item->id, '<i class="icon-wrench">

```

変更します。

変更します。

- P.208 ▼C:¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥fuel¥app¥views¥request¥index.php のコードの 26 行目の説明

誤 : substr : 第 1 引数で指定された引数の文字列を、第 2 引数から (0 の場合は頭から)、第 3 引数のバイト数分返す標準関数です。

正 : Str::truncate : 第 1 引数で指定された引数の文字列を、第 2 引数の文字数分切り詰める関数です。第 3 引数は、切り詰めた文字部分に表示する文字を指定します。

- P.208 ⑦保存成功時、¥request¥index.php が実行され、ブラウザに画面が表示される。の 3 行目

誤 : 26 行目 : 「おねがい情報」の本文 (\$item->body) を文字列の一部分を返す標準関数 (substr)

正 : 26 行目 : 「おねがい情報」の本文 (\$item->body) を文字列の一部分を返す関数 (Str::truncate)

- P.213 ▼C:¥donichi¥fuelphp-1.7.3¥fuel¥app¥classes¥controller¥request.php の 26 行目 ※P.205 の変更による影響。

```

誤 : 23     'ip' => Input::ip()
24     ));
25
26     if ($request and $request->save())
27     {
正 : 23     'ip' => Input::ip()
24     ));
25
26     if (Security::check_token() and $request and $request->save())
27     {

```

追加します。